

第26回靴下求評展 審査会報告



2021/10/1 東京文具共和会館
13時～16時

審査員は外部より4名(日本百貨店協会、文化服装学院、織研新聞社、日本繊維製品品質技術センター・キューテック)、日本靴下協会会員企業より7名、日本靴下工連より2名、計13名。
審査委員長は工連喜多理事長です。

一次審査

13名の審査員が、出展作品の紹介文の資料を基に1時間審査され、各審査員がそれぞれ10作品を選ばれ投票用紙に記入され提出頂きました。
事務局にて集計し、4票以上の投票が有った15作品が二次審査に進みました。



二次審査

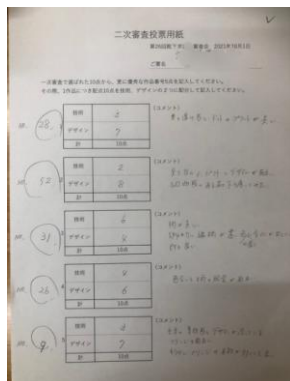
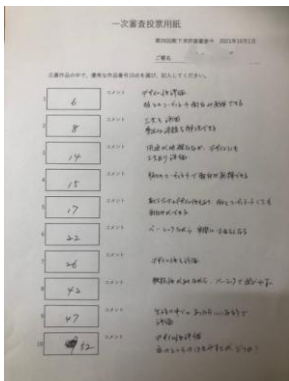
一次審査で選ばれた作品を足型トルソーに履かせて、柄とか特徴が良く見えるように飾りつけをして審査。
審査員からそれぞれ5点を選んで、技術面とデザイン面を10点満点で割り振ってもらい投票して頂きました



二次審査で選ばれた作品の内、得票数の多い作品の順に中央の台に展示。今回は最高得票の80点を得た作品が1点あり経済産業大臣賞に決まり、70点と60点を得票した2点が経済産業省製造産業局長賞2点が決定致しました。

続いて日本靴下協会会長賞、工連理事長賞は50点と40点を得票した作品の中から、デザイン面の得点数が多かった3点が日本靴下協会会長賞、技術面での得点数が多かった3点が工連理事長賞に決定しました。
特別賞につきましては40点を得点した商品の中から文化服飾学院様と織研新聞社様がそれぞれ1点ずつ選んでいただき、各賞が決定いたしました。

審査投票用紙(記名式)
一次審査投票用紙 二次審査投票用紙



一次投票では10作品を選んでいただき、選考した理由なども記入していただきました

二次投票では5作品を選び各10点をデザイン、技術に割り振って配点しました。